

旅館やホテルで続々と採用される スマートロック! 導入施設は 「ゲストの宿泊体験の向上」に成功!

(株)構造計画研究所

東京都中野区本町4-38-13

日本ホルスタイン会館内

☎050-5306-6250

<https://remotelock.kke.co.jp/case/hotel/>

国内7000台の販売実績を有するスマートロック「Remotelock」(リモートロック)の導入施設では、キーレス化を実現することで「ゲストの宿泊体験の向上」や「フロントレスのおもてなし」に成功している。このRemotelockは、WiFi型のスマートロックで、オンライン上で簡単に鍵管理できるシステムだ。同システムは、宿泊施設を軸にオフィス、レンタルスペース、公共施設等の多彩な利用シーンで展開中だ。管理者は、クラウド管理システム上で、鍵の代わりとなる暗証番号とその有効期間を設定。ゲストは連絡を受けた暗証番号を押すだけで入室できるといった簡単な仕組みだ。

このシステムを導入してユーノーマル時代の旅館づくりに再挑戦しているのが、創業200年の歴史を持つ老舗旅館「地獄温泉 青風荘」(熊本県)だ。同旅館は2016年の熊本地震とその2か月後の土石流の被害も受けながら、2019年の宿泊棟の再開以降、計16室にRemotelockを採用している。その意図は、大浴場や食事処、ライブラリー、売店等の館内施設と客室



老舗旅館「地獄温泉 青風荘」に導入された「Remotelock」。

の往来時に鍵を持ち歩く煩わしさを解消してストレスフリーな滞在を提供することを第一義的に考えて、テンキー式スマートロックの導入でキーレス化を図ったのだ。

地震と土石流の被害から約3年にわたる復旧工事を経て「湯治宿」という伝統軸を残しながら、お湯を中心にした癒しを提供するコンセプトを再確認し、同時に最新のIoTデバイス駆使してオンラインで鍵管理をするスマートロックを導入。ゲスト用の暗証番号はスタッフがオンライン上で管理画面から発行。暗証番号の採番はボタンでランダムに生成し、チェックイン時に暗証番号を記載した紙を渡し、チェックアウトまでの期間のみ利用できるような有効期限を設定している。また、万一の時も物理鍵も付属していることで対応できる安



無人ホテル「ホテル・ザ・博多テラス」のエレベーター制御を可能にする「TOBIRA」。

心感もあった。そのほかにも、ゲストは鍵を紛失する心配がなくなった。これは、館内を回遊することも多い旅館においては特に顧客満足度の向上につながるポイントだと言えるだろう。

不正な立ち入りを防ぎ、セキュリティを向上

同社が扱うもうひとつのシステムが「TOBIRA(トビラ)」というフロアのセキュリティ向上のための入室管理システムだ。このTOBIRAによるエレベーター制御を国内で初導入したのが、(株)リクリエが展開する無人ホテル「ホテル・ザ・博多テラス」だ。同社はすでに全国50棟以上のホテルを展開しているが、今年5月開業の博多テラスは、立地が繁華街ゆえに、ウォークインの宿泊需要を見込み、エントランスはだれでも入れ



エレベーターの暗証番号と各客室の暗証番号は連動可能。

るようにしながら、客室フロアのセキュリティを高めるためにTOBIRAを実装したエレベーター制御を導入。それによって、無人ホテルの最大のポイントとなる安全性の担保を強化したのだ。

このTOBIRAもリクリエ独自のチェックインシステム「Tabiq(タビック)」と連携し、チェックインが完了した宿泊客のみにエレベーターを呼び出すための暗証番号と客室用の暗証番号が提供される仕組みだ。TOBIRAはRemotelockシリーズの製品で、既存の電気錠、自動ドア、エレベーター等の扉をクラウド管理して、オンライン上で鍵の発行や入室履歴の管理ができるシステムだ。

構造計画研究所がリリースするシステムのいずれも、非接触・非対面時代に相応しいIoTデバイスである。